

茅ヶ崎海岸県有地に関する打合せ会議（海岸開発協同組合） 概要

- 1 開催日時 平成18年12月18日（月）18：45～19：45
- 2 場 所 市役所本庁舎第5会議室
- 3 出席者 海岸開発協同組合理事長及び理事（2名）、企画調整課3名
- 4 会議概要

事務局より趣旨説明を行った後、意見交換を行った。主な意見等については、次のとおり。

- ・本地区で営業している人の意見を聞く前にプランができてしまうのは、おかしい。
→この段階では案であり、たたき台としてお示しした。また、茅ヶ崎海岸グランドプランの策定作業は、3つの組織を作って進めている。そのうちまちづくり協議会に貴団体も参加いただいております、協議会では各団体から様々な意見をいただいております。
- ・計画づくりもいいが、海岸浸食の状況については、どう考えるのか。浜の再生がまず第1ではないか。
→海水浴場のレイアウト等、来年1年かけて詰めさせていただきたい。
- ・仮設トイレについては、シーズン前に設置されるのか。
→シーズン前に設置の予定。また、電線の地中化も進めていく。
- ・今回初めて聞いた話だが、海岸開発協同組合が議論に加わっていただけるのはいつからか。
→年明けから。新年度からはより具体的な計画づくりの作業に参加していただく予定。
- ・このプランは、中海岸しか対象としていない。海岸全体を検討してもらいたい。全地区の中で場所に応じた色分けをしてもらいたい。皆で遊べて子どもが安全で遊びに来れるような魅力ある場所が必要だ。観光協会が音頭を取るということもあるだろう。「ここは沢山の人が利用できるような場所」とするなど、エリアを分ける考え方も必要ではないか。
→都市マスタープランでは、汐見台、柳島、中海岸と3つのふれあい拠点が設定されているが、ここは市内でも重要な観光資源となる場所である。商工会議所も茅ヶ崎海岸グランドプラン推進会議のメンバーに入っている。
- ・平塚の新港は、利用が少ない状況。作るだけでなく、メンテナンスまで含めて、最後まで面倒を見ることが必要ではないか。
- ・県の予算で漁港周辺の海岸清掃を行ったが、バイクが3台、冷蔵庫が出てきた。年に1回は、海岸清掃も行うべきだ。
- ・今後、さらに検討を進めていく予定だが、市側で案を作成し、海岸開発協同組合のみなさんと来年1年かけて、協議させていただきたい。
→わかりました。